

富浦協働つうしん

5月12日(木)

富浦地域づくり協議会「さざなみ」が発足



大空高く飛び立つカモメの群れ、南無谷海岸にて。

富浦地域づくり協議会の
設立総会を開催

富浦地域づくり協議会「さざなみ」の設立総会が、石井市長をはじめ来賓を迎え、会員22名が出席し開催されました。

日時 … 4月24日(日)午後7時
場所 … 南房総市役所大会議室
内容 … 規約、役員、活動計画等の決定

「さざなみ」の設立目的は、富浦地域住民と行政との協働を通して、住民主体の地域づくりを進め、子どもから老年寄りまで、世代を超えて集える健やかで活気あるまちづくりです。

役員は左記の通りです。

会長 栗林忠志
副会長 堀内久光、朝日照
会計 石井康夫
運営委員 目黒輝彦、本間誠
章、松岡孝一、成田悦子
監事 穂積徹雄、池田礼子

富浦保育所に遊びに行こう！



富浦地域づくり協議会「さざなみ」では、富浦保育所の協力を頂き、園庭の開放を実施しています。ぜひ親子で遊びに来て下さい。

1. 開放日…5月は日曜日と祝日

2. 時間 … 午前10時～12時

3. 対象 … 1～6歳児

4. 費用 … 無料

5. 雨天 … 中止

ご利用にあたっての注意点
1. 必ず保護者が付き添って下さい。
2. ひも、フードの付いた衣服の着用は避けて下さい。

私のイメージする「子どもの遊び場の確保」
目黒輝彦さんの話

富浦保育所の協力を頂き保育所の園庭開放が実現しました。

子ども達の遊びによる交流を促し、子ども達の健全な成長を見守る、楽しい活動の輪が広がってゆくことでしょう。

岡田美智子さんの話
(新会員)

地域づくり協議会による、園庭開放の実施が決まりました。5月は日曜日と祭日に、子ども達の明るい声が聞こえて来ることでしょう。明るく、元気いっぱいの子どもの達が育つように、一生懸命活動していこうと思っています。

発行元： 南房総市富浦協働推進室

〒299-2492 南房総市富浦町青木28

TEL： 20-4744 FAX： 20-4598

富浦の現状

富浦の人口は沿岸部に集中

図1は、2010年4月1日現在の、富浦町の各区ごとの1～6歳の子どもの人口分布を示しています。この図から富浦の1～6歳の子どもの人口は、沿岸部に集中していることが分かります。

またこの図は、富浦の子どもの遊び場を考えていくうえでも、重要な資料の一つとなります。例えば、過去の資料と比較することにより、各区ごとの子ども達の人口の推移が把握出来ます。

住みやすい富浦を目指して、富浦の現状と今後を皆んなで一緒に考えてみませんか。

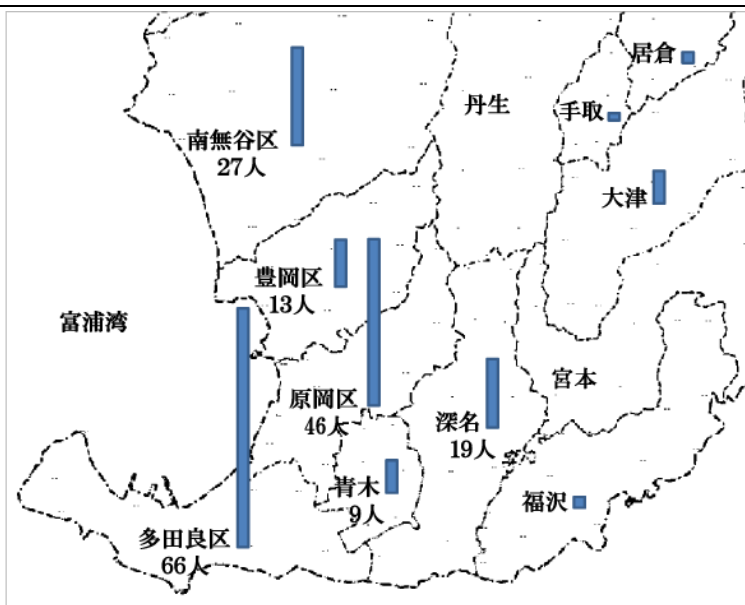


図1. 富浦各区ごとの1～6歳の子どもの分布
 総計：197人(2010年4月1日現在)
 富浦保育所園児：26名
 富浦在住園児：24名

子ども達の笑顔がまぶしい

子育てと就労の両立支援の一環として、富浦幼稚園で学童保育事業が行われています。

子ども達は、宿題をしたり、ブランコや滑り台で遊んでおり、その笑顔はまぶしいほどでした。



5月の連休中、富浦保育所の園庭が開放されました。子ども達とその保護者の延べ人数140名あまりが、しゃぼん玉や風船を飛ばして、楽しく過ごしていました。

楽しい富浦保育所の園庭開放

富浦の昔ばなし

ムジナが戸を叩く

昔は狸のことを「ムジナ」とも言いましたが、狐に比べますと姿や顔立ちがひょうきんなためか、人を化かしたり騙したりするにしても愛嬌があつたようです。多田良から船形の堂の下までの漁師のお婆さんたちの間に、昔、ムジナに騙された話がおもしろく残っています。

漁師の家では、おかみさんが男たちを夜の明けぬうちに海へ送り出しますと、朝までひと眠りするのですが、そんなとき、雨戸を「トントン」叩くものがいたのです。

「お天道様が出たよ、早く起きな。」と声がしますので、飛び起きて庭へ出ますと庭には人影もなく、空には星が光っているだけだったのです。

若いおかみさんの家には、何故かそういうことが度々あつたそうです。その都度、

「ハハー、今夜もムジナの奴が騙しに来たな。」と笑って布団に入り直したそうですが、もう寝られはしなかったそうです。

昔のムジナは、夜中になりますと人家に近づき人間の生活を掻き回したのですから、なかなか遣り手だったといえます。もつともムジナはムジナでも「頭の黒いムジナ」だったのかも知れません。

著者 生稲謹爾氏

